

情報公開内容

課題名：非閉塞性腸間膜虚血：造影 CT による診断能の検討

本研究の目的

非閉塞性腸間膜虚血は血管の閉塞がないにもかかわらず腸管が壊死に陥る非常に致死率の高い疾患です。その診断には血管造影がもっともふさわしいといわれていますが、この検査は比較的侵襲性の高い検査であり、検査そのものを行うことも容易ではありません。より侵襲性が低く、どの病院でも比較的容易に行うことのできる造影 CT での診断が望ましいと考えられますが、現時点では造影 CT における非閉塞性腸間膜虚血の診断能は確立されていません。

本研究の目的は造影 CT で非閉塞性腸間膜虚血を診断できるかを検討することです。

本研究の対象

2008 年 11 月～2011 年 10 月の間、本院において造影 CT が施行され、手術所見・病理所見で非閉塞性腸間膜虚血と診断された患者さん。

本研究の意義

本研究により造影 CT で非閉塞性腸間膜虚血が診断できるかどうか明らかとなる可能性があります。非閉塞性腸間膜虚血が造影 CT によって診断できるのであれば、侵襲性の高い血管造影を診断目的として行う必要がなくなり、患者さん・病院双方にメリットが大きくなるものと考えます。本研究は臨床的にも非常に重要性が極めて高いと考えています。

本研究での評価項目

本研究ではすでに行われている造影 CT 画像と手術所見・病理学的所見を用い、造影 CT による非閉塞性腸間膜虚血の診断能を評価します。カルテを調べて調査することが主な調査方法で

す。調査項目は、患者の性別、年齢、採血結果、既往歴、臨床診断、画像診断、手術所見、病理診断です。

本研究への参加と個人情報保護

この研究へ情報を提供したくない場合は下記までご連絡下さい。

本研究への情報提供を拒否されてもなんら不利益は生じません。

この研究に参加することで特別な謝礼金などの資金援助はありません。

学会論文発表は完全に匿名化してなされます（名前、ID、イニシャル、生年月日等の個人を特定できる情報は記載されません）。

症例の個人情報は匿名化されますので、個人情報が漏洩することはありません。

問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

担当者所属：広島大学病院 放射線診断科

職名：医科診療医

氏名：研究担当者 中村優子

連絡先電話番号：082-257-5257